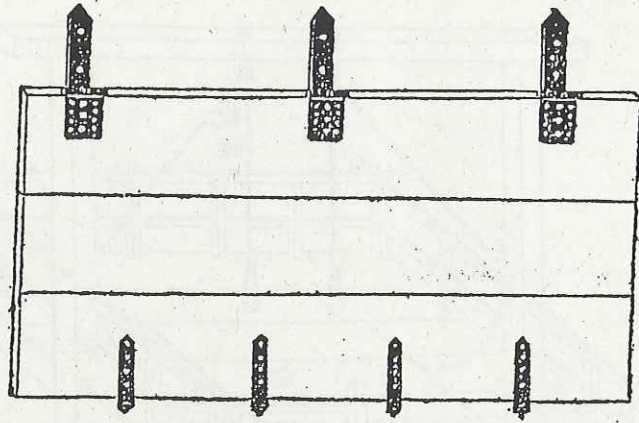


踏板表面図 実物三十分ノ一



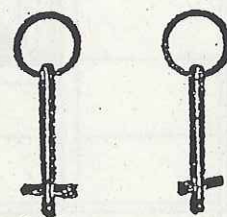
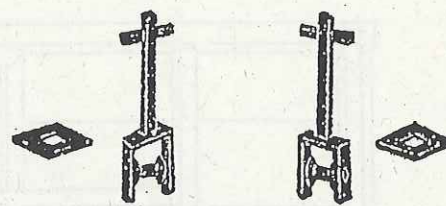
機車 実物三十分ノ一



機車屬鉄板図 実物三十分ノ一



絞繩環図 実物十分ノ一



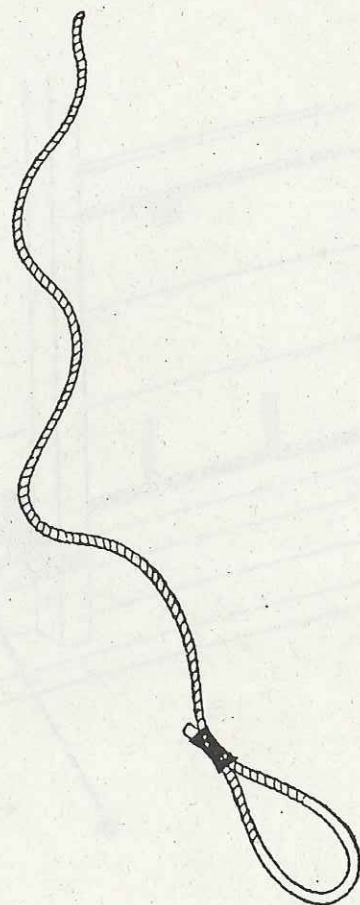
鉄板架図 実物十分ノ一

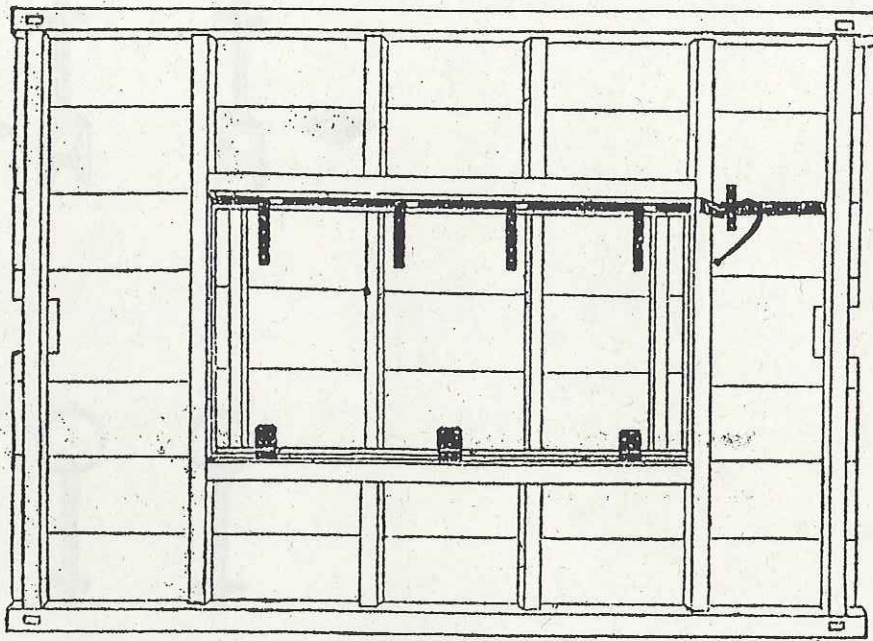


螺旋図 実物十分ノ一

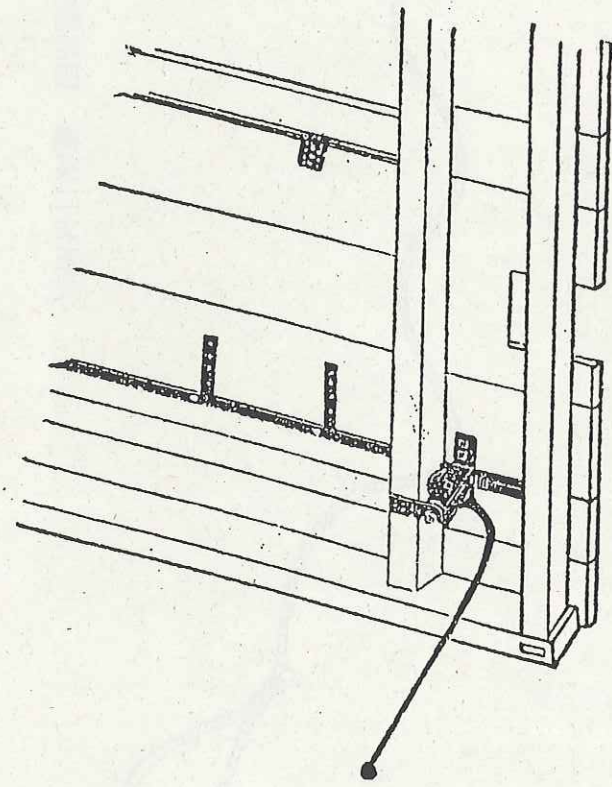


絞繩略図 繩長二丈五尺





踏板裏面図 実物三十分ノ一



機車装置図 実物三十分ノ一

こうざいきかい ずしき とおり あいなりそうろうあいだ
絞罪器械 別紙図式の通 改正相成候間 各地方
おい いたすべきこと
に於て右図式に従い 製造可致事

こうか
絞架全図 実物 60分の1

本図 死囚2人を絞すべき装構なりと 雖も 其三人以
上の処刑に用るも 亦之に模倣して作り 渋墨を以て
まったく べ
全く塗る可し

およそ こうけい ま ばく かみ
凡 絞刑を行うには 先ず両手を背に縛し 紙にて
おもて おお ひき こうか のぼら ふみいたじょう たた
面を掩い 引て絞架に登せ 踏板上に立しめ 次
りょうあし ばく こうじょう しゅりょう ほどこ そのいんこう
に両足を縛し 次に絞縄を首領に施し 其咽喉
あた なわ うが てっかん ちょうご およぼ
に当らしめ 縄を穿つところの鉄鑿を 頂後に及し
これ きんしゆく きしゃ え ひ ふみいたたちま かいらく
之を緊縮す 次に機車の柄を挽けば 踏板忽ち開落
しゅうしん はなる およそ くら かか およそ ふんじ
して囚身(地を離る凡1尺) 空に懸る 凡2分時
しそう けん かいげ
死相を験して解下す